

平成 28 年熊本地震で見えてきた新たな課題

1 災害の概要

- 平成 28 年 4 月 14 日（金）21 時 26 分頃
M6.5（確定値）
最大震度 7（熊本県益城町）
- 平成 28 年 4 月 16 日（日）1 時 25 分頃
M7.3（確定値）
最大震度 6 強（熊本県南阿蘇村、熊本市内の一部、菊池市、宇城市、合志市、大津町、宇土市、嘉島町）

2 主な被害状況（25 日 14 時現在 消防庁）

- 死者 60 人（うち関連死 12 人） 負傷者 1,445 人
- 倒壊家屋 約 11,000 棟（全壊 1,696 棟、半壊 1,614 棟）
- 避難者 約 5 万 4 千人 ※ 約 18 万 4 千人（熊本県 17 日現在）

3 新たな課題（論点） … 車中泊避難

※ 内閣府「避難所運営ガイドライン」も想定外

- 指定避難所以外への避難（これまでは建物への避難が基本）
- 駐車収容スペースの確保
- 避難者数の把握や必要な救援物資の算出が困難
- エコノミー クラス症候群による震災関連死